

市民が笑顔にあふれる 生活ができるよう全力

明けましておめでとうございます。市民の皆さま方には、清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年来、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の兆しが見えない状態であり、まだまだ警戒が必要な状況にあります。市民の皆さまの健康と安全を第一に考え、引き続き感染症対策を継続しつつ、地域経済の回復、活性化についても可能な限りの対策を講じ、市民の皆さまと一丸となつてこの難局を乗り越えていきたいと思っております。

さて、本年度の市政運営につきましては「人口減少・少子高齢化対策」「農業振興」「教育の充実」を重点課題として、進めてまいりました。

■人口減少・少子高齢化対策

子どもを安心して産み育てることができ、環境整備を推し進めるべく、子育て・若年夫婦世帯への家賃補助をはじめ、子育て世代包括支援センターの開設、子ども医療費、子どもインフルエンザ予防接種の無料化など、結婚から出産、子育てまでの切れ目のない支援の充実を図ってまいりました。これまでの取り組みには一定

の成果を上げていることから、引き続き支援を継続してまいります。

■果房メロンとロマン

開設から2年目を迎えた店舗は、昨年1月に来店者1万人を達成し確かな歩みを刻むとともに、メディア露出が功を奏しており、情報発信機能が十分発揮され、本市の知名度向上に寄与しているものと考えます。今後も首都圏での情報発信に努め、人口減少問題などの課題解決につながる糸口を探ってまいります。

■農業振興

競争力の高い農業の推進に向けてのさらなる取り組みとして、つがるブランドの一つであるメロンの通年水耕栽培と、スマート農業の実証試験を開始いたしました。この水耕栽培は、天候に左右されにくく、年間を通して安定した収穫が見込まれるとされていることから、農業所得の向上と新規就農者の確保に繋いでいければと期待を寄せております。引き続き、農業団体、市議会と連携し、地域産業である農業が持続可能で魅力ある産業として発展できるよう、取り組んでまいります。

■教育の充実

早期に市内すべての小中学校の教室にエアコンを設置し、快適に学習

できる環境を整備したほか、国が掲げるGIGAスクール構想の実現に向け、本年度中に児童生徒に1人1台の学習用タブレットを配備するとともに、市内小中学校に情報通信ネットワーク環境の整備を行い、ICTを活用した新たな学びの場を創出してまいります。

「今後のつがる市の教育の方向性」に従い、学校と地域が、一体となつて子どもを育むコミュニティ・スクールを本格的に開始するとともに、義務教育9年間において、指導内容や方法など一貫性をもって取り組むつがる市型小中一貫教育の実施に向けた準備を進めてまいります。

■その他の取り組み

市民の幅広いスポーツ活動や生涯スポーツの推進と災害時の防災拠点機能を備えた「(仮称)つがる市総合



体育館」ならびに地域防災の備えとしての防災備蓄倉庫の本体工事や、今後5年間のまちづくりの指針となります。第2次つがる市総合計画後期基本計画の策定など遅滞なく、かつ、確実に進めてまいります。

何よりも市民の皆さまが、笑顔にあふれる生活ができるよう、私たちの住む「つがる市」の豊かな自然や文化・歴史を守り、次世代に繋げるまちづくりに向け全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願いするとともに、皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新春のご挨拶といたします。

市民目線に立った

実のある政策を提言

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、新春を健やかに迎えのとお慶び申し上げますとともに、日ごろから市議会に対し、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

■ 昨年を振り返って

昨年は、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、スポーツの祭典である東京オリンピックが延期になるなど、さまざまなイベントが中止となりました。

また、国内においても新型コロナウイルス感染症が大都市圏を中心に感染が拡大し、自粛要請が出されるなど経済にも多大な影響を与えています。

一方、九州や中部地方で発生した「令和2年7月豪雨」により、河川の氾濫など甚大な被害が発生し、多くの方々犠牲となりました。改めて、水の恐ろしさを感じたところであります。被災されました皆さまには、一日も早い復興を願うとともに、心よりお見舞い申し上げます。

本市においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民が楽しみにしていたネブタまつり、馬市まつりなど各種イベントが中止となるなど、これまで経験したことのない

状況にありました。

幸い、基幹産業である農業においては、自然災害による被害もなく、稲作、畑作ともに順調に生育し、米価において若干の価格低下がありました。が、平年並みの作柄であり、嬉しい出来秋を迎えることができました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的損失など、暗い話題が多い中、明るい話題として、地元の木造中学校、木造高校出身でN.T.T東日本の佐々木健選手がプロ野球球団埼玉西武ライオンズにドラフト2位で指名され、つがる市出身のプロ野球選手が誕生しました。市内の子どもたちに夢と希望を与える、素晴らしい出来事であり、今後の活躍に期待が寄せられるところです。

■ 市議会の役割

さて、本市は、高齢化社会や人口減少に歯止めがかかっていない状況下、次世代を担う若者の人口流出や少子高齢化が進展していることから、早期の対応が求められております。

人口減少は、住民生活や地域経済、地方財政のあらゆる面において大きな影響を及ぼします。このことから、地域活力を取り戻していくため本市では「第2期地域活力創生総合戦略」を昨年度策定し、重点的に取り組んでまいります。

市議会としても、市政に対するチエック機能を果たすことはもちろんですが、二元代表制の一翼を担う立場から、活力ある地域社会実現のため積極的に意見を述べてまいります。人口減少対策や基幹産業である農業振興、今後の新型コロナウイルス感染症対策など、市民目線に立った実のある政策を提言していくことが重要な責務であると認識しております。

今後とも、議員一同、市民の信頼と負託に応えられるよう研鑽を重ね努力して参る所存ですので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この災禍が一日も早く終息を迎え、本年が希望と笑顔に満ちた飛躍の年になりますよう、心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



令和3年 年頭のご挨拶